

＜県士会員それぞれの活動紹介＞

茨城ハンドセラピーを語る夕べ ～医師とセラピストの勉強会～

白井郁子

資格：認定作業療法士 所属：とき田クリニック



「茨城ハンドセラピーを語る夕べ」という会を医師と立ち上げ活動を始め3年半が経過しました。今回は会の立ち上げの経緯や会の紹介をさせていただきます。

今まで第二次救急指定病院、ICU勤務、訪問リハビリテーション、クリニック業務と経験してきました。働き始めた頃より特に手外科、ハンドセラピー分野に興味を持ちました。評価が不十分であれば長期的な手の形、拘縮等を予想できずあつという間に不可逆的な状態になってしまう可能性がある。しかし、作業療法評価を行い、拘縮を想定し予防的に関わることで、合併症管理・安静度指導をすることで、困っていることやしたいことをうかがい二次的な手術の可能性等も含めた今後の方針を医師や患者様と話し合いながら行っていくとアプローチの効果を感じることもあり魅力的な分野だと思いました。卒後働き始め何もわからない私は先輩や医師の先生方にたくさんご指導していただきました。また休日に遠方の県外の勉強会へ参加させていただく機会もありました。その頃から、茨城県内、近くでも定期的に勉強できるような会はないだろうか、あるといいのになあと思っていました。また臨床経験年数が増えると後輩や実習生の指導の機会も増え、貴重な機会をいただけ嬉しく思うとともに自分が指導していることは的確なのか、と不安に思うこともありました。そこで相談できる場所を茨城県内にも作りたいたいと思い医師と会を立ち上げました。

医師の指示のみで作業療法を実施するのではなく知識や技術を増やし患者様のしたいことや目標にあった後療法を医師へ発信できる作業療法士が増えることを目指しています。

会は毎月1回定期開催しています。症例検討が主で演題は登録している病院が持ち回りで用意しています。また、随時相談症例も受付しており、その他の研修の広報・文献情報提供も実施しています。医師・作業療法士の参加が多いですが職種は限定しておらず理学療法士、看護師等他職種の参加もいただいています。茨城県は日本手外科学会専門医が現在11名と他都道府県と比べ少ない現状があり増加が望まれます。会は医師とセラピスト等が気軽に集まれ相談できる和やかな雰囲気を目指しています。わからない言葉をメモして調べ覚えていく貴重な機会であったり、同年代の医師や作業療法士が日々患者様のために悩みながら臨床を行なっていることに共感できる機会かと思えます。相談することで今まで思いつかなかったアイデアやアドバイス、文献情報をいただける貴重な機会にもなります。患者様がどの医療機関を受診しても安心して治療に専念できる環境づくりの一つになれば幸いです。ご案内をご希望の病院・施設様は是非ご連絡お願い致します。

